

# お母さんになるってどんな感じ？ — 妊婦体験をしてみましょう —

## 1 本時の目標

- (1)妊婦体験を通して妊娠時の体型と重量感、圧迫感、生活動作について理解させ、妊婦に対する優しさや思いやりの必要性に気付かせる。
- (2)母体内の胎児について関心をもたせ、かけがえのない生命をはぐくんでいくのは社会全体の責任であることを理解させる。

## 2 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
積極的に妊婦体験に取り組もうとしている。	社会の一員として生命をはぐくむことについて考えている。		妊娠時の体型を胎児の発達の様子と関連させながら理解し、周囲の気配りの必要性について気付いている。

## 3 展開例（時間：50分程度）

	生徒の活動	教師の働きかけ、評価
導入 5分	○マークはどのような場所で見かけるか、マークを意識して見たことがあるか、これまでの経験から思い出す。	○マタニティマークを提示する。 ○このようなマークが存在する意味について、妊婦体験を通して考えてみることを伝える。
学習課題： 妊婦体験をしてみよう		
展開 30分	○あらかじめ指示されていたグループになり、体験者・観察者の役割を決める。  ○妊婦体験セットを体験者に装着する。  ○体験および観察を開始する。	○4人グループを作らせ、妊婦体験の方法について説明する。 ・妊婦体験セットの内容について（胎児の発達の様子と関連づけながら行う） ・装着の仕方と注意事項について ・動作の内容と順番について ・体験・観察のポイントについて（時間の経過による変化をみながら、妊娠時の体の状態を理解する） ☆注意事項を守りながら、積極的に妊婦体験に取り組もうとしている。（関心・意欲・態度） ○グループごとに決められた順番で体験をスタートするよう指示する。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験セットを片付ける。</li> <li>○「ワーク1」、「ワーク2」を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○階段の上り下りについては、事故が起こらないように配慮する。</li> <li>○体験が終了したら、感じたことをワークに記入するよう指示する。</li> <li>☆妊娠時の状態について理解し、周囲の気配りの必要性について気付いている。〈知識・理解〉</li> </ul>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分自身は、今後どのような行動をとるか考える。</li> <li>○「ふりかえり」を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆かけがえのない生命をはぐくんでいくことは社会全体の責任であることを考えている。 〈思考・判断〉</li> <li>○いろいろな考え方があってよいことも伝える。各人が、生命を健やかにはぐくむという視点で自分のできることを考え、行動できればよいことを伝える。</li> <li>○妊婦体験を通して、気付いたこと、わかったこと、感じたこと、もっと知りたいと思ったことをカードに記入させる。</li> </ul>

### \*指導上の留意点

- 本実践は、体験することだけでなく、観察することに重点を置いた。単に「妊婦は大変だ」という感想に終わってしまわないようにすることが大事である。見慣れている友人が妊婦体験ジャケットを装着することによってどのように変化するか、それを見てどのように感じるか、考えるかということをお大切にしたい。
- 体験学習は、とりあえず体験してみるという考えではなく、体験の意味が十分に生かされるような指導計画のもとに行われることが大切である。この体験が、今後の生活の中に生かされていくことをねらいとしたい。

